

恐怖の台風10号

被害総額57億円

市内全域に損害

全壊住居百三十二戸

台風十号による被害総額は、五十七億一千二百二十二万四千七百六十九円と、今までに例をみない大規模なもので、一般住宅の全壊百三十二戸(被災者三百四十二人)▽半壊一千二百九十九戸(被災者五千三百七十五人)▽一部破損六千余戸(床上浸水百六十一戸)▽床下浸水二千七百戸となつています。

公共施設▽小学校十四校、中学校四校の被害金額三千二百八十八万四千七百六十九円、▽保育所十五か所一千五百一十九万四千七百六十九円、▽公営住宅、公共土木施設などその他の公共施設一千三百六十九万四千七百六十九円、▽農作物被害八億六千万円、▽林

被害の内訳

一般住宅	37億2千7百万円
全半壊	1,339世帯 1,551人
一部破損	6,347世帯
床上浸水	161世帯
床下浸水	2,700世帯
公共施設	5千7百万円
農産関係	8億6千4百万円
林産関係	6百万円
水産関係	2億7千6百万円
商工関係	1億4千6百万円
	6億6千4百万円



写真1 被害調査のジープも立往生 十市

産物二億七千万円、▽水産関係一億一千万円、▽商工関係六億六千万円となり、林産物など最終集計では増加するものとみられています。

もつとも大きな被害の一般住宅に、市は災害住宅復旧特別世帯更生資金を寄

細収入の家庭を対象として、六万円以内の応急住宅補修二十三戸、二千九百四十八万円とプレハブ住宅四十七戸を建設し、また社会福祉資金として母子、寡婦資金十九件三百八十七万円と世帯更生資金五十六件、八百七十五万円などが申請貸付されています。一般被害世帯については、金融公庫資金の貸付二百二十三件をあっせんしています。また見舞金として全壊世帯九十九戸に六百五十三万四千円、半壊世帯千二百四十四戸、九十七万

一千二百円を贈りました。産業関係は、農業者のために天災融資特別災害資金八千三百九十九万円、商工業関係として中小企業災害特別資金二億一千八百八十二万円(百九十六件)内訳をみてみますと、商業九千二百五十万円、工鉱業一億二千六百五十七万円、水産関係は、天災融資、被害漁業小口資金、十号台風災害復旧対策資金などが一千四百余万円(八十五件)申請貸し付けされています。

災害復旧に全力を

市長 金堂 久喜

八月二十一日台風十号の直撃をうけ、市民の方々には大へんな被害を受けられました。その後の復旧はいかががでしょうか、今なお苦勞されていることと思ひます。

私も、世界連邦平和宣言都市南国市長として日本代表団に加わり、カナダの首都オタワで開催された第十四回世界連邦世界大会及びカナダ、アメリカの行政視察の参加途上にあつて、台風襲来の情報に接しながらいかんともしがた、まことに心痛のきわみでございましたが、幸にして被害対策については、助役を中心とした職員および議会、消防団員ら各位の一致した努力によって順調に進み、今なお最善の努力

市長オタワの

世界連邦 世界大会 に参加

偉大な科学者であったアインシュタインの提唱された世界は一つの理念のもとに、人類の永遠の幸福を求め、地球上から戦いや争い



写真は オタワの世連世界大会へ出発する市長をかこんで

のない平和な世界をつくるために世界の国々があつまつて、一つの連邦政府を樹立しようという世界連邦運動は、日本でも戦前から一部知識人らによつてすすめられて

いきましたが、戦後、世界全人類の滅亡が叫ばれる原水爆の開発によつて、急速に世界平和運動が高まり、綾部市を最初に世界平和都市宣言がつきつきとなされ、私たち

をかさねております。災害は忘れた頃にやってくるという教訓がございますが、まさにそのとおりで、台風銀座といわれながらもこしばらくは台風の被害も忘れたかのような状態でした。古老の言にも「今まで高知県に最大の被害を及ぼした室戸台風もこれほどのものではなかった、八十年余り生きるが、こんなことはない。」と語っております。まさに未曾有の被害を受けたわけです。

その被害額は、県全体で七百十三億五千四百万円、一世帯当り三十八万八千円に達し、南国市におきましても五十七億一千二百万円余り、一世帯当り四十六万四千円に及んでおります。

県知事以下総動員態勢で復旧処置に当り、園にも強力に働きかけ、ご存じのように九月二十五日に激じん地の指定を受けました。市としても、救援物資、給食など直ちに配布するとともに、緊急処置として専決しました。

た住居全壊に対するプレハブ住宅の建設や救援物資の支給、住宅復旧費の貸付など、あるいは農林、水産、公共用施設、文教、民生などの復旧予算の総額は一億五千万円にのぼっております。

こんごの対策として、いわゆる標高ゼロメートル地帯の調査把握を行なうと共に、すでに県の開発基本構想に盛り込まれております下田川、鋸野川、秋田川後川、明見川などの排水問題を中心とした河川改修、久枝、前浜、十市地区防波堤の完全なる改修などの基本的な問題に積極的に取り組む所存であります。

災害復旧に最善の努力をかきねているとはいえ、なお、ご不満の点が多々あると思われまがどうか遠慮なく申し出ていただくようお願いし、一日も速かに復旧するよう祈念します。

の南国市も二百六十二番目の宣言都市となり、全市民活動の一つとして推進してゆくことになりました。

ところで、世界の人々が手を握り合うために、世界のどこかの国で、年に一回世界大会が開かれますが、ことしオタワで開かれた世界大会へ、金堂市長は中四国宣言都市代表として八月二十二日から九月十三日まで、カナダ、アメリカメキシコなどの行政視察をかねた日本代表団の一員として参加しました。市長は渡米中、懸案の姉妹都市の縁結びの話し合いを現在その下準備が進められています。



//台風一過//稲生地区にある石灰工場は大きな痛手を受けました。(約2億円)おかげで住民は公害のない澄み切った空をみることができました。(写真左)ひっそりとした石灰工場地帯。



写真右 屋根瓦は飛び、天井もご覧のとおり、市内十八校の小・中学校の被害もかなりのものがありました。
|| 稲生小 ||

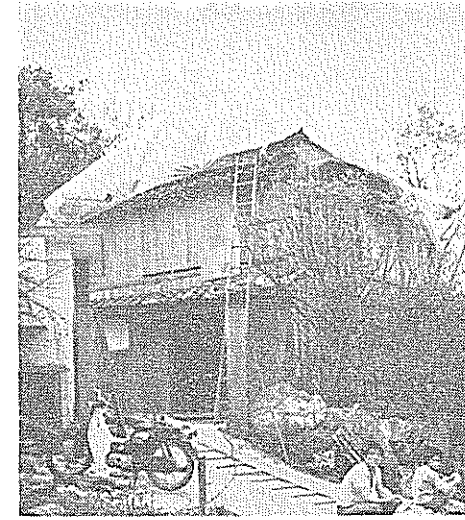


写真左 吹き抜けた屋根。
|| 香南中 ||



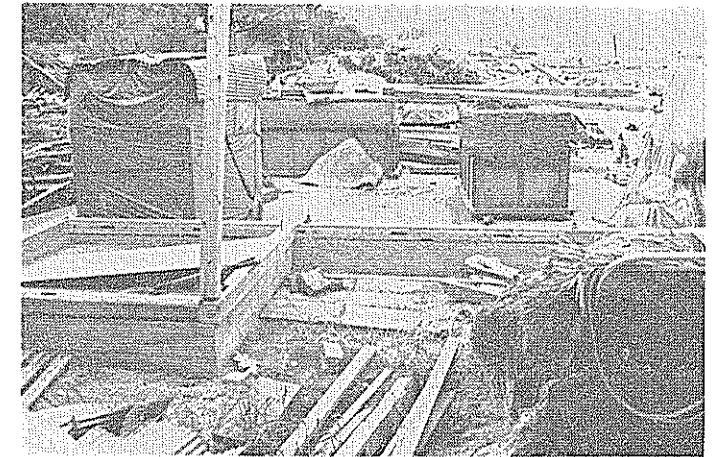
写真上 いち早く救援物資が届けられました。 = 稲生 =

台風はいつか再びやってくる



伊達野のM氏はダブルパンチで母屋(写真上)の屋根は飛び納屋と乾燥場(下)は跡方もなく六十年の薪は飛散し、乾燥機はこの箱がその場に放置されたままでした。

泣くにも泣けない



写真下は 床上浸水をした家屋。

写真下は 浸水した衣服を晴れ間に乾して……。

= 稲生 =

= 稲生 =





写真(下)＝稲グロも飛ばされて

＝稲生＝



写真(上)＝沈んだ船の引上げ作業(右の方にへ先がみえてる)



写真(上)＝倒壊し高潮のために打ち寄せられたハウス施設

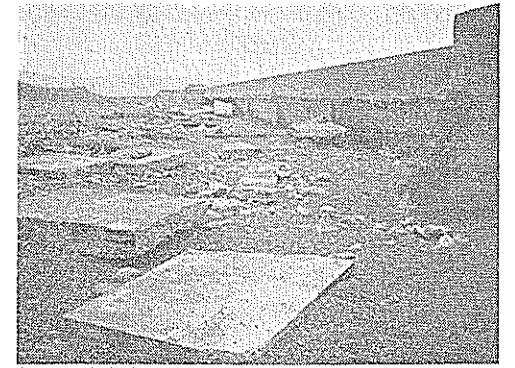
＝十市＝

写真(下)＝吹きちぎられた梨、台風後花を咲かせて来年の収穫も心配されている。



写真(左上)＝断水のため飲料水の給水にも活躍

＝十市＝



写真(上)＝高潮のため破壊された防潮堤

(下)＝破壊された角落しのかわりに土のうを築き高潮に備える

＝久枝＝



写真(右)＝浸水地帯の清掃作業

＝稲生＝

写真(下)＝30年生の植林もバッサバッサと倒れ

＝中の川＝

